

電子技術科「EMCコース」

# 5Gへ向けた電波吸収体 ・シールド技術の基礎

- 電波吸収体の基礎を学びたい方
- これからEMCに携わる方

電波吸収体の基礎から応用までを、この分野の第一人者である青山学院大学の橋本修教授にご講義いただきます

講師	橋本 修 教授 (青山学院大学 理工学部 電気電子工学科)
日程	令和3年9月2日・9日・16日・30日 全4日間
会場	オンライン (Zoom)
受講料	28,600円 (税込、テキスト代込)
申込締切	令和3年8月19日 (木)
主催	(地独) 神奈川県立産業技術総合研究所

	13:00~15:00	15:10~17:10
9/2 (木)	<b>①電波の基礎 (その1)</b> 電波工学の概要、平面波と偏波、反射と透過など	<b>②電波の基礎 (その2)</b> 定在波、アンテナの基礎、電波伝搬の基礎、伝送線路理論など
9/9 (木)	<b>③電波吸収体技術 (その1)</b> 電波吸収体の概要、電波吸収体の設計、吸収量の測定など	<b>④電波吸収体技術 (その2)</b> <実現方法> 1層構成、2層構成、 $\lambda/4$ 型構成、金属パターン構成、温度特性、モノスタテック特性など
9/16 (木)	<b>⑤シールド技術</b> EMC技術とは、シールド技術の概要、遠方と近傍、平面波シールド、近傍シールド、隙間のシールドなど	<b>⑥材料定数の測定 (その1)</b> 測定の概要、自由空間法、導波管法、方形導波管法、同軸導波管法など
9/30 (木)	<b>⑦材料定数の測定 (その2)</b> 共振器法、各種測定法の誤差、異方性材料測定の概要、非破壊測定の概要など	<b>⑧5G応用と伝搬特性</b> 伝搬の基礎、電波干渉、フリスの公式とレーダ方程式、伝搬損失の測定・計算と規格、伝搬損失キュレーションなど

## <開催案内>

### 電子技術科EMCコース 「5Gへ向けた電波吸収体

### ・シールド技術の基礎」 (オンライン)

5Gによる新たな周波数帯での無線通信の開始により、電波干渉リスクの増大が懸念されています。5Gの利便性とリスクのバランスを実現していくためには、電波吸収やシールド技術に関する知識が不可欠なものとなります。

本講習では電波の基礎から、電波吸収体の設計やシールド技術、材料定数の測定法、伝搬損失シミュレーションまでについて、この分野の第一人者である青山学院大学の橋本修教授に、実際の開発例も含めご講義いただきます。

電波吸収体の基礎を学びたい方やこれからEMCに携わる方などに役立つ内容となっています。

1. 研修期間 令和3年 9月2日、9日、16日、30日の4日間
2. 研修時間 13:00 ~ 17:10
3. 受講資格 原則として、神奈川県内に事業所を持つ企業に勤務する方
4. 定員 20名程度
5. 受講料 28,600円(税込)
6. 申込方法 KISTEC ホームページの下記よりお申し込み下さい
7. 申込締切 令和3年8月19日(木)

\*締切日以降のお申込みについてはご相談ください。

#### 8. その他

- 「オンライン講座に関する規約」をご承認頂いた上で、お申込みください。

[https://www.kistec.jp/wp/wp-content/uploads/KISTEC\\_online\\_kiyakuR2\\_0709.pdf](https://www.kistec.jp/wp/wp-content/uploads/KISTEC_online_kiyakuR2_0709.pdf)

尚、受講は1回の申込みにつき1名に限ります。

- Zoomを利用できる環境をご用意ください。
- 全講義の75%以上受講した方に修了証書を授与します。
- 受講料は、指定銀行口座にお振込みください。

また一旦、振り込まれた受講料はお返しできませんのでご了承ください。

- 講義の内容は都合により変更されることがあります。また応募者数が少ない場合、研修が中止となることがあります。

## <お問合せ>

(地独) 神奈川県立産業技術総合研究所 人材育成部 産業人材研修グループ

住所 〒243-0435 海老名市下今泉705-1

電話 046-236-1500(代表)

FAX 046-236-1527

E-mail sm\_sangyoujinzai@kistec.jp



※HPIはこちらです